

氷見市議会産業建設委員会会議録

令和6年12月11日(水)
氷見市庁舎議事堂委員会室
開 会 午前 9時59分
閉 会 午前11時12分

- 1 案 件 令和6年12月定例会において産業建設委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 5名
北委員長、萬谷副委員長、荻野委員、屋敷委員、萩山委員
- 3 委員外議員 正保護長、上坊寺副議長
- 4 職務のため出席した議会局職員 布尾局長、新井主査
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
菊地市長、篠田副市長、大木政策統括監、出戸企画政策部長、東軒総務部長、安田消防管理監、釜田産業振興部長、神代建設部長、竹消防総務課長、角商工観光課長、赤倉農林畜産課長、竹口水産振興課長、林ふるさと整備課長、堂田道路課長、宮下都市計画課長、足立上下水道課長、そのほか関係職員
- 6 傍 聴 人 1人
- 7 付託議案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
 - ・北委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、いずれの案件も全会一致をもって原案を可決することに決した(主な質疑応答は別紙のとおり)。
 - ・委員長報告は委員長に一任され、特筆事項は無しとした。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和6年12月11日

氷見市議会産業建設委員長

代 宣市

令和6年12月産業建設委員会付託案件表

令和6年12月11日(水)午前10時
氷見市庁舎議事堂委員会室

◎消防総務課

- ・議案第62号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第6号)中 10:01~
消防総務課所管に係る事項…………… 説明書P.12

◎商工観光課

- 8105
・議案第62号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第6号)中 10:04~
商工観光課所管に係る事項…………… 説明書P.9

◎農林畜産課

- 8087
・議案第62号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第6号)中 10:21~
農林畜産課所管に係る事項…………… 説明書P.8

◎水産振興課

- 8101
・議案第62号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第6号)中 10:29~
水産振興課所管に係る事項…………… 説明書P.9

◎ふるさと整備課

- 8091
・議案第62号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第6号)中 10:40~
ふるさと整備課所管に係る事項…………… 説明書P.9

◎道 路 課

- 8072
・議案第62号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第6号)中 10:45~
道路課所管に係る事項…………… 説明書P.10

◎都市計画課

- 8078
・議案第62号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第6号)中 10:51~
都市計画課所管に係る事項…………… 説明書P.10

◎上下水道課

- 0766-30-2155
・議案第63号 令和6年度氷見市水道事業会計補正予算(第3号)…… 11:03~ 説明書P.15
・議案第64号 令和6年度氷見市下水道事業会計補正予算(第3号)…… 説明書P.19

(注)財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

11:12

主な質疑応答

(商工観光課)	企業立地助成金について
屋敷委員	今回助成対象となる株式会社 北二からは、いつ頃、制度活用の相談があったか。
角商工観光課長	令和3年度頃から。
屋敷議員	他の企業からも相談事例があるとのことだが、今後どのように話を進めていくのか。
角商工観光課長	市内企業から増設の相談を受けており、話を進めているところである。
屋敷委員	本会議の質問にもあったが、本市には働く場がないことが原因で、若者や女性が出て行くことが懸念されるため、ぜひとも企業立地の話を進めていただきたい。
角商工観光課長	県の調査では、本市には多種多様な業種がないことから居住につながっていないとのアンケート結果があったため、製造業以外にも企業誘致を進めていく。
萬谷委員	企業誘致を進めるため、本市ではどのような条件を提示して説明しているのか。
角商工観光課長	県や呉西圏域が主催するセミナーにおいて、過疎法による固定資産税の3年間免除など、本市の有利な点についてPRしている。また、人口が少ないことを懸念する企業もあるため、昼間は、1万人程度が市外に働きに出ていることを説明し、労働力があることを併せてPRしている。
萬谷委員	他市と天秤にかけられた際は、市長が対応する場面が出てくると思うがその判断基準はいかに。
角商工観光課長	企業から具体的な問い合わせがあった時点で上局に説明しており、タイミングを伺いながらトップセールスにて対応している。
萩山委員	近年では、サテライトオフィスでの運営など、事業形態が変貌していることから、申請条件を緩和することは検討しているか。
角商工観光課長	時代に適した支援となるよう、検討している。

萩山委員	県も企業誘致を進めておられるが、各市町村との競合に関して、どのような調整をされているか。
菊地市長	商工労働部に配置されている企業立地専門官が、県全体のコーディネートを行っており、各市町村の状況を把握しながら企業の条件に合った場所を提供できるよう調整している。そのことを踏まえ、本市にも企業誘致していただけるよう働きかけていく。
荻野委員	企業立地助成金が補正予算に組み込まれたのは、当初予算において計画がなかったということか。
角商工観光課長	年度途中において、助成対象の条件である『創業日から1年間の雇用継続』が確認されたことから、補正予算にて計上した。
荻野委員	企業立地助成金の申請があったのは、株式会社 北二の1社だけか。
角商工観光課長	現在のところ1社だけであるが、雇用を拡大する1社が申請を検討しており、確認中である。
萩山委員	企業立地に関しては、経営戦略において重要な部分であり、情報が洩れると妨害される恐れもあることから、守秘義務も兼ねて補正対応していると思うが、そのような考えで間違えないか。
角商工観光課長	そのとおりである。
(農林畜産課)	経営体育成支援事業費（能登半島地震災害関連）について
荻野委員	せっかく施設を修繕しても、近いうちに農業者がいなくなれば費用対効果が得られないのではないか。今回補助対象となった地域の担い手について、現状を教えていただきたい
赤倉農林畜産課長	稲積地区は担い手がいると思われるが、水稻を実施している地区では、全国的に担い手不足が心配されていることから、地域計画策定の際に問題点として拾い上げ、重要な施策として対応していきたい。
萩山委員	被災した施設の復旧に対する支援であるため、費用対効果については議題とならないのではないか。
赤倉農林畜産課長	そのとおりである。

(水産振興課) 萩山委員 竹口水産振興課長 萩山委員 竹口水産振興課長 萩野委員 竹口水産振興課長 萩山委員 竹口水産振興課長	水産業共同利用施設復旧支援事業費（能登半島地震災害関連）について 氷見水産加工業協同組合の冷凍冷蔵庫は、現状復帰ではなく、場所を移して施設を更新しているので、復旧といえるのか。移転と併せて施設を直すということであれば、負担割合が変更となるのではないか。 水産加工の冷凍冷蔵庫については、設計のコンサルトから「改修するよりも建て替えたほうが経済的である。」との指示があり、国にも相談したうえで支援が認められている。 施設の解体は、補助対象外か。 国の補助対象となるため、今後、予算要求していきたい。 冷凍冷蔵庫の移転予定地には駐車スペースが無いと思われるが、別の場所に確保しているのか。 漁業者のための駐車スペースと位置付けており、漁協から了承を得ている。近隣自治会への説明会を10月半ばに開催しており、それを踏まえたうえでの設置となっている。 仲買協同組合が管理している施設の被災はなかったか。 仲買協同組合は水産庁の補助対象とならないが、施設の被災はないと聞いている。
(道路課) 萩山委員 堂田道路課長 神代部長 萩山委員 堂田課長	社会資本整備総合交付金について 社会資本整備総合交付金の減額について、環状南線の工事費用が抑えられたことから減となったのか。 6路線の実施を予定していたが、交付金が減額されたため、環状南線の工事費を減額したものである。 交付金の内示額が小さく、事業費を抑える必要があったため、環状南線の工事費を減額させていただいた。 国の交付金額が減額されたことについて、理由は示されているか。 理由は示されていない。

(都市計画課) 屋敷委員 宮下都市計画課長 屋敷委員 宮下都市計画課長 萩山委員 宮下都市計画課長 萩山委員 菊地市長	被災住宅応急支援事業費（能登半島地震災害関連）について 住宅の応急修理に関しては、申請対象件数1, 266件のうち、約半数の申請に留まっているが、期間が延長されたことで増額が見込まれるか。 修理業者から現状のヒアリングを実施している中で、特に屋根修理の事業所は多くの注文を抱えており、年内で全ての修理は困難との回答があったため、今後は、屋根部分の申請件数が増える見込みである。 被災者をひとりも取り残さないよう、要望があれば、さらなる延長は考えているか。 まずは、令和7年10月31日までに広報等で積極的に周知を行い、事業を有効的に活用していただくよう努める。そのうえで、申請状況や事業者とのヒアリングを通じて判断していきたい。 みなし仮設住宅は、原則2年間で出ていかなければならないが、居住者の実情に応じて延長することは検討しているか。 みなし仮設住宅の入居時において、生活再建に取り組みながら、2年後には必ず退去する旨の誓約書を書いていただいている。現在のところ、期間延長について回答することはできないが、入居者のヒアリングを行い、生活再建の状況など把握しながら実施していきたいと考えている。 2年間生活再建に取り組んだうえで、退去することが困難な方がおられた場合、市は誓約書に従って退去するよう命じるのか。 入居後、様々な事情の変化が考えられるため、入居者の声を聴きながら対応したい。
(上下水道課) 萩山委員 足立上下水道課長 萩山委員	漏水修繕費用について 過去には、空き家を含めた各家庭が、異常低温による漏水や断水の悪循環に見舞われることがあった。今年は大雪との報道があり、十分な対策は考えているか。 低温注意報が出た際は、防災無線で市民に周知している。それに加え、今年度はLINEでの周知強化を検討している。 被災で水道管や家屋が傷んでいるところに、凍結によってさらに損傷が広がるのが推察される。市民の意識向上のため、SNS等を活用して被

足立上下水道課長	害を未然に防いでいただきたい。 周知は非常に大事であると捉えている。状況に応じて、広報ひみ及びケーブルネットで注意喚起を図り、漏水や断水等の問題が生じないように取り組む。
萩山委員	周知強化の一環として、サンデーひみに足立課長が出演し、異常低温への対策を説明してみてはどうか。
篠田副市長	被災地意見交換会にて市民の話を聞く中で、市からの情報提供が不足していると痛感した。現在、メディアの特性を活かした周知方法を検討しており、サンデーひみに関しても随時発信していきたい。